

平成29年度 水稻害虫トラップ情報 (8月上旬)

1 アカヒゲホソミドリカスミカメ (畦畔)

(1) 畦畔に設置した性フェロモントラップによるアカヒゲホソミドリカスミカメの誘殺は、8月に入り、気温が低温傾向であり平年より少なく推移しています。

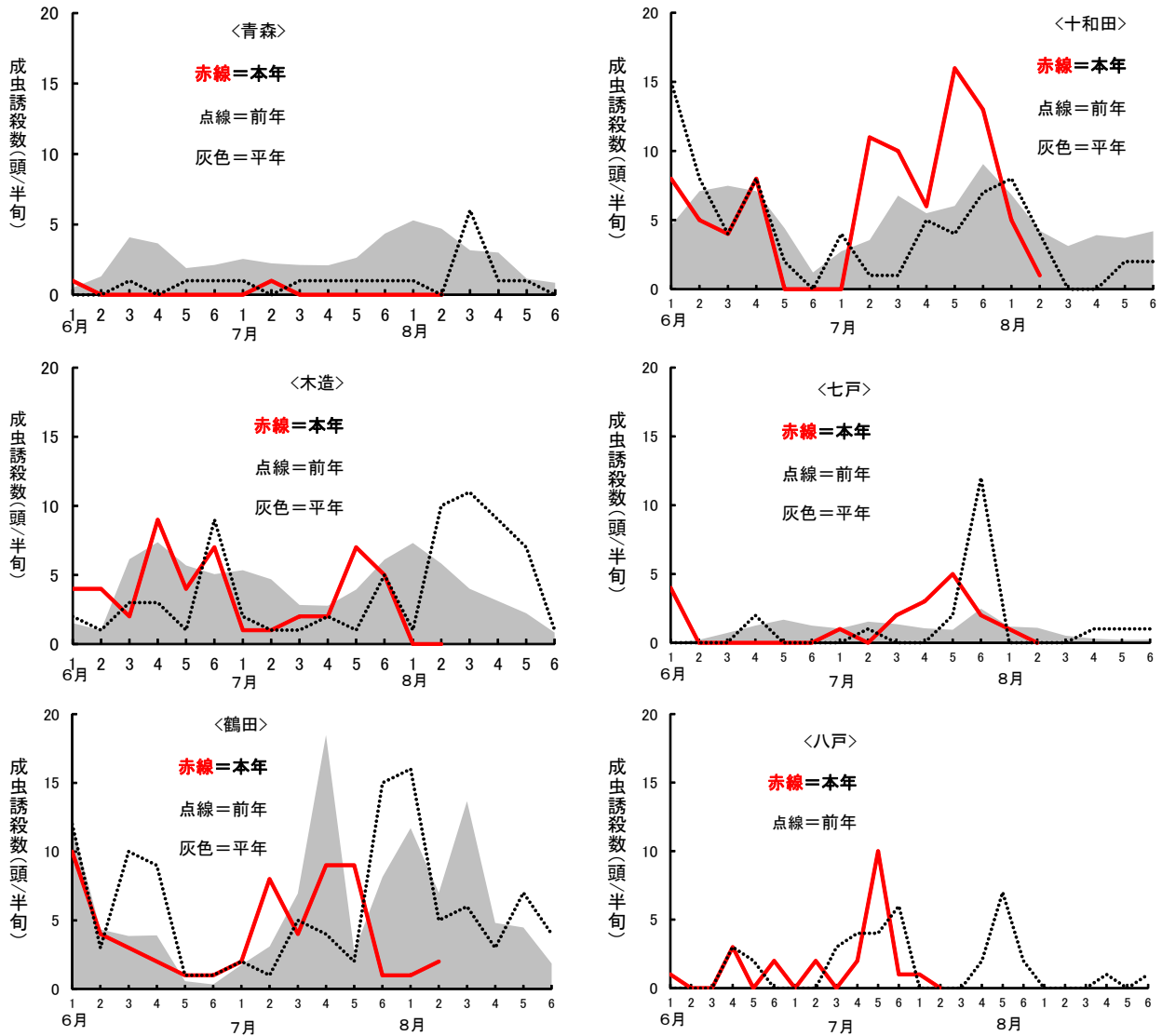
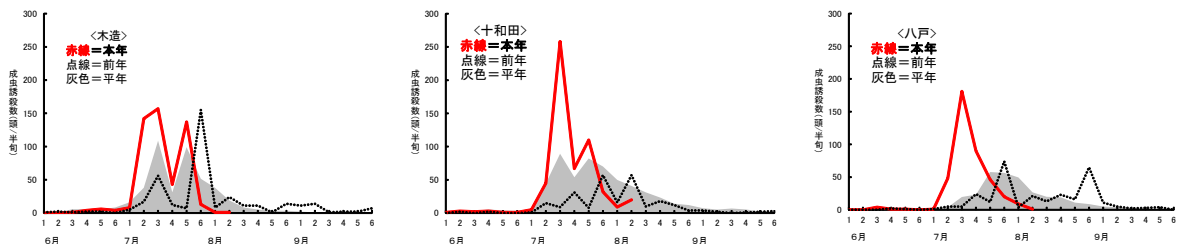


図1 性フェロモントラップによるアカヒゲホソミドリカスミカメの半旬別誘殺数

平年値は、青森7年、木造5年、鶴田3年、十和田10年、七戸8年の平均、八戸は前年値

(2) 予察灯での第2世代の誘殺は、8月1～2半旬は各地点とも平年より少なくなっています。低温傾向で夜温が低い日が続き、活動が不活発となり誘引数が少なくなっています



2 予察灯によるアカヒゲホソミドリカスミカメの半旬別誘殺数

2 アカスジカスミカメ（畦畔）

(1) 畦畔に設置した性フェロモントラップによるアカスジカスミカメの誘殺は、世代の替わり目でもあり8月上旬はどの地点でも誘殺されていません。

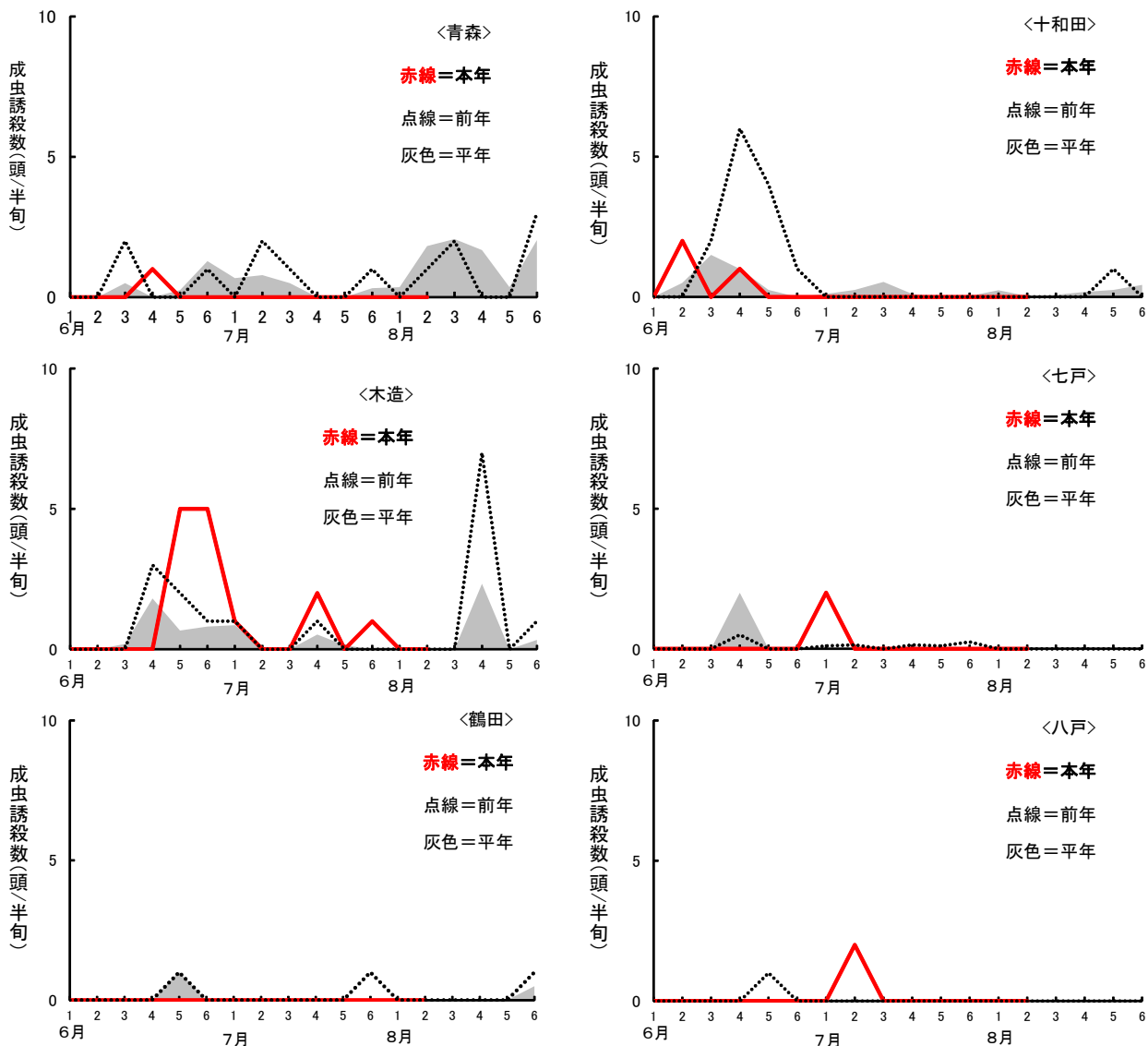


図3 アカスジカスミカメの半旬別誘殺数

平年値は、青森4年、木造3年、鶴田2年、十和田4年、七戸4年の平均、八戸は前年値

(2) 予察灯での誘殺は、誘殺が多かった木造でも、世代の替わり目と夜温が低い日が続いたことから、誘殺数が少なくなっています。

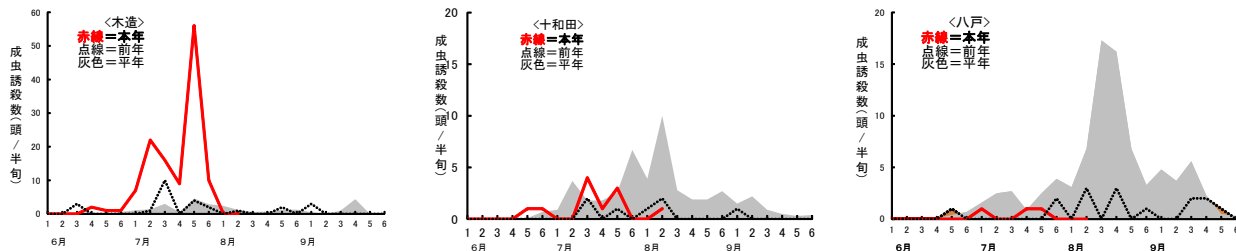


図4 予察灯によるアカスジカスミカメの半旬別誘殺数

3 フタオビコヤガ

(1) 性フェロモントラップによる調査では、現在第2世代の発生後期となっており、十和田を除き各地点とも平年より多く、発生がやや多かった前年を上回っています。

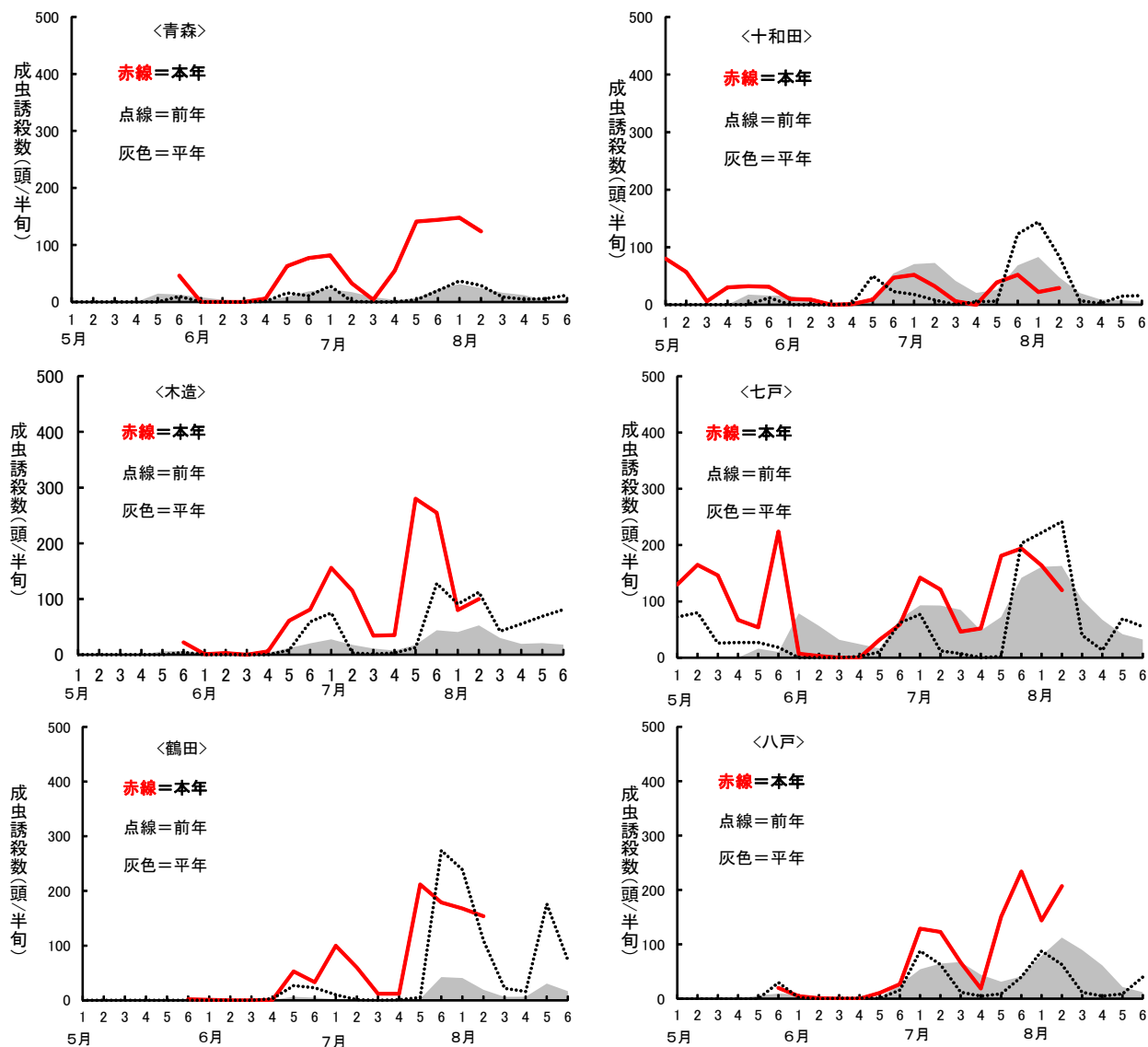


図5 性フェロモントラップによるフタオビコヤガの半旬別誘殺数

平年値は、各地点8年の平均、青森の7月6半旬は欠測で前後旬の平均で作図

(2) 予察灯での第2世代の誘殺は、最盛期を過ぎて減少しています。また、夜温の低い日が続いたことから、誘殺数が少なくなっています。

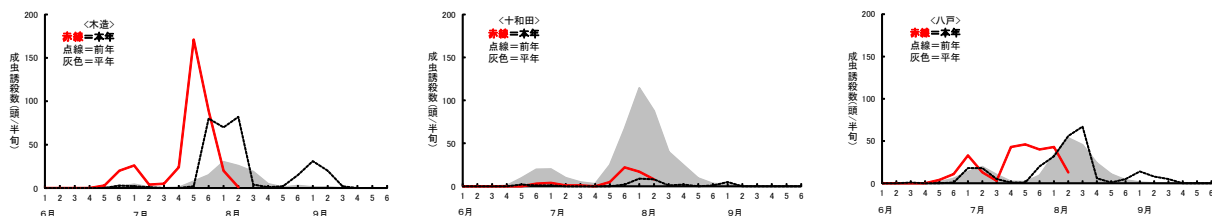


図6 予察灯によるフタオビコヤガの半旬別誘殺数

《当情報に関する問い合わせ先》

青森県病害虫防除所 〒030-0113 青森市第二問屋町4-11-6
 TEL:017-729-1717 FAX:017-729-19001 担当：市田